

4 産業観光分野

(1) 分野の重要テーマ	三芳の顔づくり			
(テーマにかかる現状と課題)	問題点: 農業は盛んだが強いブランド力のある野菜がない。商店街が二箇所しかなく、活気がない。農業と商業の接点がない。住民ニーズを把握していない。消費者と農家の交流がない。 解決策: 拠点づくり、三芳ブランドづくり、三芳産の農産物を町内で消費するシステム・場づくり、遊休農地活用			
(2) 事業メニュー	施策・事業名	事業分類	事業概要と協働効果	協働担当課
	1 農産物の規格外品の販売 (一般消費者・町内飲食店)	②	活動の担い手としてのボランティア募集、常設場所で定期開催。 町内飲食店で「三芳産」表示して販売。	産業振興課
	2 三芳産の野菜を使った料理コンテスト	②④	農産物PR、食育、世代間ネットワーク。	産振、子ども家庭、教委、保健C
	3 伝統技術の伝承	④	竹細工等の技術を伝承し、持続的循環型農業を維持していく。 次世代育成。	教育委員会
	4 三芳不思議発見ツアー よいとこ探しツアーの開催	②	産業観光資源の発掘。ワークショップの開催。	産業振興課
	5 三芳オリジナルマークづくり及び マークの推奨	②	三芳農産物のPR。三芳野菜ブランドづくり。	産業振興課
	6 芋版画年賀状づくりコンテスト	②		
	7			
(3) モデル事業				
	1) 事業名	三芳農産物の規格外品の販売		
	2) 事業形態	直轄事業		
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価		
	4) 協働担当課	産業振興課		
	5) 事業目的及び協働効果	規格外品の有効活用により農家収入アップにつながるのと同時に、消費者は通常より安く野菜を購入できる。農家と消費者が理解し合える環境をつくることで、協力しあえる関係がつけられる。三芳農産物をPRでき、町内での消費が進む。		
	6) 事業内容	ボランティアを募集し、活動の担い手とする。常設場所を設置し、定期開催する。		
	7) 役割分担 住民側 行政側	農家からの野菜の出荷。販売。 広報PR。実態把握。		
	8) 実施に当たっての課題と対応策	ボランティア募集方法。広報PR方法。農家の協力を得られるか。		

【(2)「事業メニュー」の事業分類】

- ①重要課題だが長期的検討又はまとまった予算が必要な施策・事業
- ②住民主体で経費がかからず、すぐに実現可能な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ③現状では行政のみの事業だが、協働で実施すると効果的な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ④まちづくりネットが支援し、別の担い手の育成を働きかける事業(つながり支援事業/〇〇住民会議、ワークショップなど)
- ⑤既存の住民活動があるが、協働手法による支援・連携が必要な事業(つながり支援事業/ネット勧誘、事例発表会など)
- ⑥当面は行政のみの実施として経過を見守るが、将来的に何らかの協働を検討すべき事業
- ⑦その他